



『ロングインタビュー』
早川公認会計士税理士事務所
代表

早川和志

聞き手

三浦 清華（フリーアナウンサー）

Q 略歴をみますと、いろいろな経験をされていますが、どの経験が一番貴重だったのでしょうか？

履歴書が汚くてすみません（笑）。30年以上公認会計士または税理士の仕事をしていますが、平成9年ごろからの金融危機に対応した、金融再生委員会事務局で課長補佐をやらせていただいたのが、今の私にとって大きな糧となっています。国家公務員という、全くちがった組織で働いた経験は、今の自分の仕事のやり方や考え方、ものの見方に大きな影響を及ぼしています。

Q 監査法人も何社か勤務されておりますね。

はい、当時外資系事務所であった監査法人三田会計社（現 監査法人トーマツ）、太田 昭和監査法人（現 新日本監査法人）、中央青山監査法人、新創監査法人に勤務しました。

この中で、公認会計士としてどこで育ったかと言えば、太田昭和監査法人です。

今は、東光監査法人の代表社員の一員ですが、太田昭和のときの先輩・後輩にお世話になっています。

Q 最近、税理士事務所も開設されたのですね。おめでとうございます。

ありがとうございます。いろいろ友人・知人と話していると、『会計監査』のニーズよりも世の中では『税務』のニーズが圧倒的に多いのですね。もともと、比較的小さい会社の面倒をあれこれ見させていただくのが大好きな自分にとって、ピッタリだと思いました。とは言っても、『税務』も非常に幅広くかつ奥が深いので、日々自己研鑽中 です（苦笑）。

Q どのような時、仕事に喜びを感じますか？

それは、やはり日々積み上げてきた知識や経験が役に立ち、お客様に喜んでもらった ときです。われわれのような『士業』に共通なこととは思いますが……。

Q 夢はありますか？

はい。あります。早川公認会計士税理士事務所を大きくして、自分のやり方が、世間様にとって価値あるものを提供しているのだということ証明していきたいです。「夢に日付を」入れないといといけないのですが、実は、まだ怖くて入れられません(・・;)。



Q 趣味は読書と聞きました。

読書は好きですね。本というのは、最高のコンテンツですし、ひとかどの人の10数年分の経験や英知がつまっているからです。また、ある人によれば、読んだ本の価格の平均100倍のリターンが将来あるそうです。

Q 映画、舞台もお好きだとか。

好きというより、観るようにしているというのが正解です。人生後半戦になり、自分は人よりも感動の回数が少ないのでは、と思い始めたのがきっかけです。また、かなり忙しい人でも、映画館にマメに通っていることを知り、努めて観ています。

Q 長時間ありがとうございました。

こちらこそ、お忙しい中お時間とっていただき、ありがとうございました。

インタビューを終えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

今回のロングインタビューで捉えた早川氏の印象は、彼の言う“真摯かつ誠実”な姿勢です。好きな戦国武将が織田信長、好きな三国志の武将が曹操という割には、彼らのような強烈な強さは感じませんでした。もしかしたら、自分にはないものの憧れとして信長、曹操を見ているのかもしれないですね。怖くて「夢に日付」が入れられないと言っていましたが、それは単なる照れ隠しなのかもしれません。

最後までお読み下さった方、ありがとうございました。